

益田市斎場「松聖苑」個別計画

令和2年9月 策定

益田市（福祉環境部環境衛生課）

目 次

1. はじめに	
(1) 本計画の位置づけ	P 1
2. 本個別計画の対象施設、計画期間	
(1) 対象施設	P 2
(2) 計画期間	P 2
3. 対象施設の現状と課題	
(1) 益田市斎場「松聖苑」	P 2
4. 対策の優先順位の考え方	
(1) 優先順位の考え方	P 3
(2) 施設評価について	P 3
5. 個別施設の状況等	
(1) 建物性能評価（一次評価項目）	P 4
(2) 長寿命化を行った場合の到達年度及び建物設備評価 （二次評価項目）	P 5～6
6. 対策内容と実施時期	
(1) 総合評価の概要と保全に関する基本方針	P 7
(2) 再配置等の方針（総合評価）	P 7
7. 対策費用	
(1) 計画期間内に要する対策費用	P 8

1. はじめに

(1) 本計画の位置づけ

公共施設の長寿命化を図るため、国において平成 25 年 11 月 29 日に「インフラ長寿命化基本計画」（以下、「基本計画」という。）が策定されました。

本市では、この基本計画に基づく「インフラ長寿命化計画」として、平成 28 年 12 月に「益田市公共施設等総合管理計画（以下「管理計画」という。）」を策定しました。

本計画は、基本計画に基づき、益田市斎場「松聖苑」における定期点検及び修繕の具体的な対応方針を定めたものであり、管理計画に基づく個別施設計画として位置付けます。

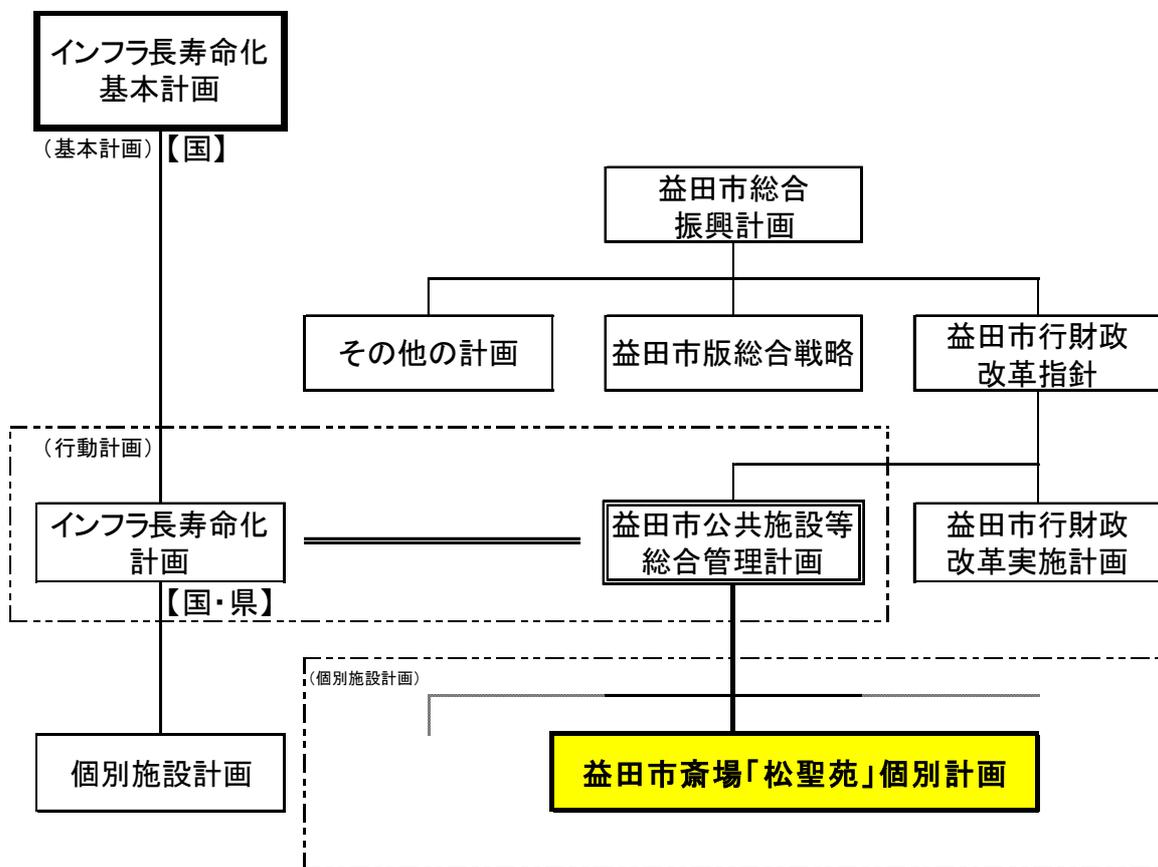


図 1 - 1 インフラ長寿命化計画体系図

2. 本個別計画の対象施設、計画期間

(1) 対象施設

施設名称	益田市斎場「松聖苑」
所在地	益田市土井町口 2629 番地 15
供用開始日	平成 10 年（1998 年）10 月 1 日
敷地面積	33,746.50 m ²
延床面積	1,421.54 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート

(2) 計画期間

本計画の期間は令和 2 年度から令和 11 年度までの 10 年間とします。

なお、原則として計画期間の中間となる 5 年目（令和 6 年度）に見直しを行うこととしますが、本市を取り巻く社会経済情勢の変化等により、見直しが必要な場合は適宜見直しを行うこととします。

3. 対象施設の現状と課題

(1) 益田市斎場「松聖苑」

益田市に斎場は一つしかなく、市民生活に欠かすことのできない重要な施設であることから、安定した運営を継続することが必要となります。

本施設は供用開始から 22 年が経過しましたが、今後も安定した運営を行うためには通常の維持管理、定期点検の実施により、修繕を計画的に進めていく必要があります。

4. 対策の優先順位の考え方

(1) 優先順位の考え方

本計画における施設は、長寿命化を図り、そのライフサイクルコストを低減することを通じ、ストックマネジメントを推進することが求められます。

このことから、以下の施設評価の結果を踏まえ、対策の優先順位を決定します。

(2) 施設評価について

施設評価は、施設の基礎的情報に基づき、建物性能評価（一次評価）を行い、一次評価とは異なる建物設備評価（二次評価）を用いて、施設の方針の選択肢の絞り込みを行います。

最後に政策的な評価（総合評価）を行い、施設の方針を決定します。

1) 一次評価

建物の①老朽化比率、②劣化状況、③耐震対応、④緊急度合、⑤避難所指定の5つの評価指数を参考に建物性能を評価します。

2) 二次評価

斎場は社会インフラとして必要な施設であり、今後施設を長寿命化した場合の到達年がいつ到来するのかを評価するものとします。

なお、本市施設の耐用年数については、本市固定資産台帳記載の年数に設定し長寿命化の到達年を評価します。

また、本施設に関しては、建物設備の維持が施設そのものの維持と不可分であることから、建物設備評価をもって設備、機器の健全度を評価します。

3) 総合評価

一次評価、二次評価の結果を踏まえ、さらに①実現可能性、②立地・拠点性、③代替性、④有効性、4つの視点から政策的判断を加え、総合的な評価を実施し、施設の再配置等の方針を決定します。

5. 個別施設の状況等

(1) 建物性能評価（一次評価項目）

1) 益田市斎場「松聖苑」

資産構造	建築年度	年度西暦	経過年
鉄筋コンクリート	平成10年	1998	22

- ① 老朽化率 42%
- ② 劣化状況 なし
- ③ 耐震対応 対応済み
- ④ 緊急度合 なし
- ⑤ 避難所指定 なし

※注 ① 老朽化率は、「減価償却累計額/取得価格」

② 劣化状況は、定期点検の結果を基に、「なし」、「あり（緊急、重大な毀損なし）」、「あり（緊急、重大な毀損）」の3段階で表記

(2) 長寿命化した場合の到達年及び建物設備評価（二次評価項目）

1) 長寿命化を行った場合の到達年度と設備健全度判定（総括表）

施設名		益田市斎場「松聖苑」
延床面積 (㎡)		1,421.54
主たる建物構造		鉄筋コンクリート
建築年		1998
経過年		22
耐震対応		対応済み
一次評価		継続
耐用年数 (固定資産台帳)	年数	50
	到達年	2048
長寿命化目 標年	年数	60
	到達年	2058
設備の健全度平均値		3.14

2) 各施設の健全度判定 (個票)

健全度	状態	措置
4	支障なし	対処不要
3	軽微な劣化はあるが、機能に支障なし	経過観察
2	劣化は進んでいるが、機能回復が可能である	部分補修・交換
1	劣化が進み、機能回復が困難である	全交換

① 益田市斎場「松聖苑」

施設の分類	劣化状況	健全度
燃焼設備		
主燃焼炉バーナ	各駆動部の老朽化	3
パワーシリンダー	異常音の有無、作動状況	4
再燃焼炉バーナ	各駆動部の老朽化	3
火葬炉設備		
主燃焼炉	セラミック、煉瓦等の損傷状況	3
断熱扉	セラミックの損傷状況、腐食、熱損	3
再燃焼炉		
再燃焼炉	スクリーン等の損傷状況	2
点検口	歪み、変形、欠損等	4
希釈設備、煙道		
集塵装置	各駆動部の老朽化	4
煙道、ダクト	亀裂等	4
送風設備		
誘引送風機	各駆動部の老朽化	3
燃焼用送風機	各駆動部の老朽化	3
その他		
各制御盤	各計器類作動状況、老朽化	3
受入設備		
火葬台車	耐火物損傷状況	2
冷却室	各駆動部の老朽化	3

6. 対策内容と実施時期

(1) 総合評価の概要と保全に関する基本方針

一次評価結果を基に、二次評価においては、建物設備評価をもって設備・機器の健全度を評価し、長寿命化を検討しました。

まず、益田市斎場「松聖苑」建物の耐用年数到達年は、本計画期間後であるため、現時点では大規模改修は行わず、適切な維持管理に努めます。

(2) 再配置等の方針（総合評価）

施設名		益田市斎場「松聖苑」
延床面積 (㎡)		1,421.54
主たる建物構造		鉄筋コンクリート
耐用年数 (固定資産台帳)	年数	50
	到達年	2048
長寿命化 目標年	年数	60
	到達年	2058
再配置等方針		維持

7. 対策費用

(1) 計画期間内に要する対策費用

施設名	益田市斎場「松聖苑」
延床面積 (㎡)	1,421.54
建築年	1998
一次評価	継続
二次評価	継続
総合評価	維持
計画期間における対策費用 (千円)	
令和2年	31,078
令和3年	27,850
令和4年	30,050
令和5年	27,850
令和6年	28,850
令和7年	28,950
令和8年	28,750
令和9年	28,000
令和10年	29,650
令和11年	28,000
合計	289,028